

おいしさと健康



NewsRelease

2016年2月23日

江崎グリコ株式会社

<http://www.glico.com/jp/>

<http://www.facebook.com/glico.jp>

パリッと、ふわっと、かる～い食感  
「クリームコロン」が  
“パリふわ”に進化

江崎グリコ株式会社は、発売45周年を迎えたロングセラー商品「クリームコロン」において、クリームとワッフルのおいしさを進化させた『クリームコロン<ミルク>』と『クリームコロン<チョコ>』を2016年3月8日（火）より新発売いたします。

本商品はクリームの原料・配合の変更や、クリームに含まれる空気の量を増やすことで、口どけ良くふわっとしたクリームに仕上げました。またクリームを包むワッフルを更にパリッとした食感に仕上げることで、ふんわりとしたクリームとのメリハリある食感が楽しめます。

パッケージデザインも、爽やかな水色と落ち着いた赤をベースに、製品特長の“パリふわ”の文字とワッフルの画像を印象付けるデザインへ刷新しました。

今回のリニューアルにより、購買層の更なる拡大を図って参ります。



(画像) 左から『クリームコロン<ミルク>』、  
『クリームコロン<チョコ>』

発売日	2016年3月8日
地区	全国
内容量	56g
価格	オープン価格
製品特長	<ul style="list-style-type: none"><li>・パリッとした食感のワッフルで、ふわふわで軽い甘さのクリームをくるっと巻きました。</li><li>・食感と味わいがクセになる一口サイズのプチスイーツです。</li></ul>

「クリームコロン」の製品情報は以下でご紹介しています。

<https://www.glico.com/jp/product/biscuit/collon>

## ■「ふわっとねこ休みキャンペーン」

今回の「クリームコロンの」販売促進策の一つとして、製品特長である「ふんわり軽いクリーム」のイメージにぴったりな、ふわっと癒される猫たちの写真シールが1箱に1枚ついてくる「ふわっとねこ休みキャンペーン」を実施します。

猫たちの表情豊かな姿を映し出す写真で絶大な人気を集めている写真家の岩合光昭氏撮影のシールは全部で22（にゃんにゃん）種類。大きな話題を呼ぶこと間違いなしです。

### 岩合光昭氏プロフィール (Mitsuaki Iwago)

1950年東京都生まれ。地球上のあらゆる地域をフィールドに、大自然と野生動物を撮り続けている。

その美しく、想像力をかきたてる作品は世界中に高く評価されている。一方で、身近な存在のネコを40年以上ライフワークとして撮り続けている。

2012年よりNHK BSプレミアム「岩合光昭の世界ネコ歩き」の番組撮影を開始。ネコに関する著書に『ちょっとネコぼけ』『岩合光昭のネコ』『ねこ』『岩合光昭の世界ネコ歩き』など多数。

「DigitalIwago」 <https://www.digitaliwago.com>

## <ご参考>コロンのとは

コロンは1971年2月に本格発売されたグリコのロングセラー焼き菓子ブランドです。

欧風菓子の雰囲気を持ちながらも、手軽に楽しめる製品にするため、形をひとロサイズにし、個包装ではなくまとめて箱入りにしました。中に詰めるクリームはロどけの良い食感にして、続けてポイポイ食べられる味付けに。コロコロとした形から、“コロン（円柱）”と名付けました。

## ■コロンの主なあゆみ

年	画像	内容
1970年		1970年1月、「クリームコロン」のテストセールを広島県で実施し、翌1971年に京阪神地区に本格発売。
1975年		クリームに続く第2のフレーバーとなる「カカオコロン」を新発売。
1995年		イチゴの風味と香りが際立つ味わいの「いちごコロン」の発売がきっかけで、この後バナナ、マロン、ラズベリーなど様々なフレーバーの展開が広がる。
1998年		ご当地のお土産をイメージした「地域限定コロン」を発売。<京都宇治抹茶>・<信州あんず>とともに当時の価格で1,000円。
2001年		分包化されたファミリーユースの大箱タイプが新登場。
2009年		コロンの焼き菓子部分を格子模様のワッフル柄に変更し、同時に味と食感も改良。
2015年		すーっとロどける冬期限定の「くちどけコロン」が登場。<ラムバナナ>・<ブランデーショコラ>の大人向けの味も話題に。

以上